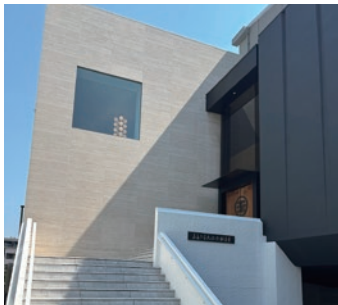


# 祝 喜多能楽堂 国有形文化財登録

十四世喜多六平太記念能楽堂(以下、「喜多能楽堂」という)は、近代的資材と意匠を用いた鞘堂に伝統的な能舞台を内包した建築形式が、造形の規範として貴重であることから令和8年2月10日(火)国の登録有形文化財に指定された。建造物としては、清泉女子大学にある旧島津家本邸に続き区内2件目(※)。喜多能楽堂は、能楽・喜多流400年の伝統を今に伝える文化拠点であり、まちに開かれた文化的な価値の高い建造物として、区内でも貴重な存在である。

## ■ 伝統的な能舞台を内包した近代的建築形式

喜多能楽堂は、昭和30年に能舞台が現在地へ移築されたことに始まり、昭和48年に近代建築の内部に伝統的な能舞台を内包する能楽堂として整備された。令和7年の改修では、「安全で快適な開かれた劇場」を理念とし、耐震補強に加えて文化財としての価値を守りながら能以外の公演も可能にする現代的な機能を整えた。外壁や1階ロビー、2階ラウンジなど外観、内装に施された建築当時の意匠を活かしたクラシックモダンな空間へ再構成し、文化的交流を促すため来館者が過ごしやすい環境づくりに力を注いだ。



外観(改修後)

正面外壁には50年前のトラバーチン(大理石の貴重建材)が残る。右手が入口。



2階ラウンジ(改修後)

建築当時の特注タイル天井を活かしたクラシックモダンな空間。快適な開かれた劇場を体現する。

建物一階の能舞台は、能で心情や情景を表現する役割を担う白足袋の動きが、どの席からも美しく見えるよう精巧に設計されている。舞台奥の鏡板の松は、前田青郁(昭和30年文化勲章受章)の監修、日本画家・江崎孝坪の揮毫で、喜多流の武士道的芸風を象徴している。



能舞台(2階席より)

屋根越しに舞台を俯瞰できる視点は能の原風景を思わせる。



鏡板の松

素朴さと気迫を旨とする喜多流の芸風を象徴する力強い松。

## ■ 地域にひらかれた、文化芸術の未来を紡ぐ舞台

茶道・華道・書道と同じく、「たしなみの文化」として能も受け継がれ、観るだけでなく手習う人々がいたからこそ600年の時を経て今日を迎えた。喜多能楽堂は、専属の実演団体を持つ劇場という強みを活かし、誰もが能に親しみたしなむ機会を提供している。謡曲と仕舞の稽古を随時受付しており、能を体感する場も設けている。

改修後は能以外の実演芸術にも門戸を開き、能の精神性を包み込む舞台空間を活かしながら利用が広がっている。伝統と創造が交差するこの舞台から、文化芸術の未来が静かに紡がれていく。

## ■ 現代を映し出す新作能にも挑戦

武蔵野大学との新作能復活プロジェクトや、能装束の技術を未来へつなぐ杉野服飾大学との連携など、創造的な取り組みも積極的に行われている。令和8年8月6日の品川能楽鑑賞会では、核の時代を生きる意味を問う新作能「オープンハイマー(日本語版)」(一面参照)を初上演する予定で、能が現代的課題をも扱える芸能であることを示す挑戦となる。



**所在地** 品川区上大崎4-6-9  
(目黒駅徒歩約6分)

**開館時間** 催事により異なる

**公式HP** <https://kita-noh.com/>



喜多流の公演情報は  
こちら



### ※品川区にある国指定文化財

種別	名称	所在地	所有者	
建造物	旧島津家本邸	東五反田3-16-21	清泉女子大学	
重要文化財	絵画	絹本著色仏眼曼荼羅図	品川3-5-17	品川寺
	工芸品	金小札色々威胴丸	大井4-22-16	西光寺
史跡	沢庵墓	北品川4-11-8	東海寺大山墓地	
	賀茂真淵墓	北品川4-11-8	東海寺大山墓地	
	大森貝塚	大井6-21/大田区山王1-3		
天然記念物および史跡	旧白金御料地	上大崎2丁目/港区白金5-21-5		
重要無形民俗文化財	江戸の里神楽(品川神社)	品川3-7-15(品川神社)	間宮社中	

## 事業団40周年記念コラム② この10年を振り返る ～コロナ感染症を乗り越えて～

2020年1月から22年5月、世界規模で新型コロナウイルス感染症が猛威をふるいました。「緊急事態宣言(延260日間)」や「まん延防止等重点措置(延94日間)」、東京都の重点措置やリバウンド防止期間・警戒期間などが断続的に発令され、その度に私たちは行動制限を余儀なくされました。

この間、品川文化振興事業団では宣言の趣旨や都・区の方針を踏まえ「施設における新型コロナウイルス感染拡大防止予防ガイドライン」を策定し、施設利用の休止、時間制限、事業の中止・延期、定員制限等の対応を行いました。2020年秋は品川区民芸術祭が中止となりましたが、事業団では「新しい日常にLet's meet Art!」を合言葉に、制限下にあっても文化に出会い楽しむ機会の確保に務めました。

### ★きゅりあん・スクエア荏原

- ・臨時休館(69日間)、夜間利用の休止(123日間)、夜間利用の短縮(161日間)とそれに伴う夜間利用料の免除。コロナを理由とするキャンセルに伴う返金はきゅりあんで4年間で約3,600件・8,000万円、スクエア荏原では1,600件・2,100万円に及びました。

### ★メイプルカルチャーセンター

- ・2020年4月期(4/1~6/30)を休講とし受講料を返金。7・10・1月期は手工芸などを中心に「声を出さない」講座のみ再開。以降は段階的に講座を再開。この間スクエア荏原・八潮教室は休講。
- ・2020~21年度のメイプルメイツ展覧会・発表会は中止。22年度は展覧会を開催。

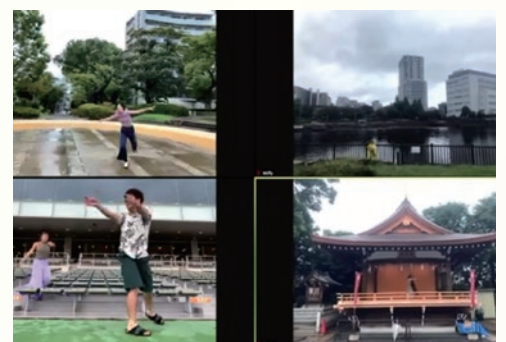
### ★O美術館・品川区民ギャラリー

- ・2020年5月末日までと2021年5月は休館。以降は感染症対策を実施し貸出を再開。2021~22年度企画展も感染症対策を施し開催。

### ★公演事業

#### 2020~2022年度

- ・きゅりあん主催事業  
中止9本、感染症対策を施し50%配席9本、100%配席4本、延期6本。
- ・スクエア荏原指定事業  
事前予約制7本、感染症対策を施し50%配席5本、100%配席5本。
- ・品川アーティスト展  
2020~21年度はライブ配信、22年度は感染対策し実施。



ライブ配信(四元中継)  
大森貝塚遺跡庭園・東品川海上公園  
大井競馬場・品川神社

2022年3月22日のリバウンド警戒期間からは施設利用・各事業は通常の見守り・時間で実施し、2023年5月のコロナウイルスの感染症法5類移行からは飲食提供の緩和などを行いつつ通常の営業体制に戻りました。